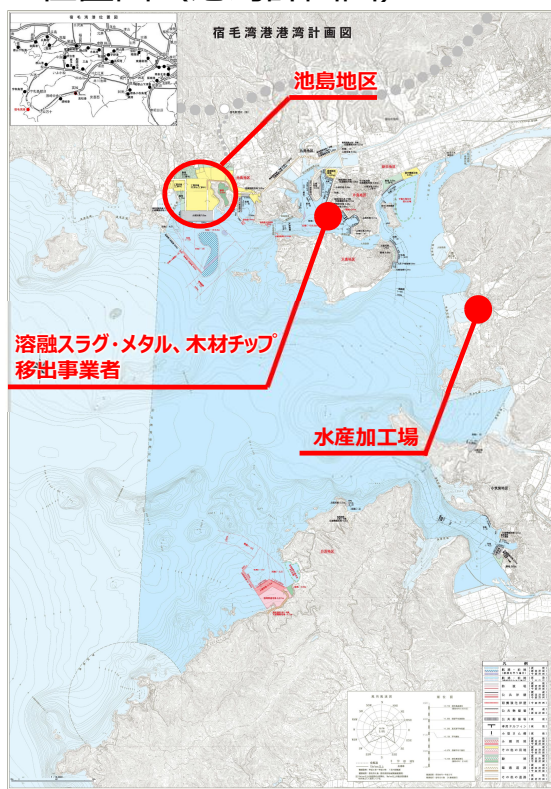


1. 申請港概要

- 港湾管理者 高知県
- 担当部署 高知県土木部
港湾・海岸課
- 地元自治体 宿毛市、大月町
- 宿毛湾港は高知県西部に位置し、風や波浪の影響を受けにくく、湾内の水深が深いという優れた自然条件に恵まれた良港です。
近年では木材の取扱が増加し、クルーズ船の入港が増えたことで、地域に大きな経済効果をもたらしています。
災害時には防災拠点港として幡多圏域に向けた緊急物資の受け入れ及び輸送拠点として機能し、地域住民の安全確保や迅速な復旧活動に欠かすことのできない非常に重要な港湾となっています。

■ 位置図（港湾計画図）



2. 申請港のサーキュラーエコノミーへの取組や貢献

○：実績
☆：計画

- 適切なりサイクルや再資源化の推進を目的として、一般廃棄物処理施設である幡多グリーンセンターから、近年では溶融スラグ・メタル約0.1万トン/年およびバイオマス発電用木材チップ約0.7万トン/年が排出されており、池島地区へ集積し、関西・九州地方へ効率的に移出して参りました。これにより、限りある資源の有効活用を図るとともに、廃棄物の適正処理や削減にも寄与しており、将来的にはさらなる取扱量の拡大が見込まれます。
- ☆ 池島地区は大型船が接岸可能な岸壁(計画水深－13.0m)を有しており、その背後に位置する荷さばき地の整備を進める計画をしています。現在、荷さばき地では木材を集積していますが、整備を進めることで、世界的な砂不足を背景に需要が増加しているスラグ類、また、近年、需要が増加している鉄スクラップについての集積が可能となり、他港からの内航船輸送、積み替えのハブ港としての港湾利用が見込まれます。
- ☆ 本港に隣接する漁港に位置する水産加工場等から排出される加工残渣などを回収し、飼料や肥料として再利用するシステムの整備を計画しております。この取り組みと連携を図り、港湾を核とした地域における資源循環を一層促進するとともに、地元産業の持続可能性向上にも寄与することが期待されます。

3. その他



溶融スラグ・メタルの集積状況



木材チップの集積状況



水産加工場の作業状況